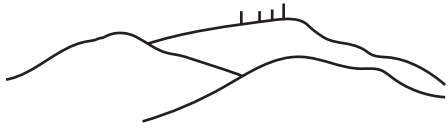


Youth Manna

2021/12/13 - 12/19



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/12/13(月)

ヨブ記 38:16-41

38章から、沈黙を破り神様はヨブに語り始めた。神様は「あなたは海の淵まで行ったことがあるか(16)」「死の陰の門を見たことがあるか(17)」と語っている。神様はこの全地を創造された方で、天も地も支配することができるが(25-27、31-33)、人間にはそれはできない。しかし、神様に限界はない。神様は、私たちが目も留めないような存在をも大切に扱ってくださっている。神様が大切に扱っていることを私たちも大切にできるように、以下の点を今日考えてみよう。

1. 他の人も、神様が愛してくださっている大切な人！友達、家族、自分以外の誰かを大切にしよう！(ex 自分から挨拶する、自分の話ばかりでなく相手の話もよく聞く)
2. 神様が創造された地球を大切にしよう！(ex 使っていない部屋の電気を消す、コンビニでお箸やレジ袋を断る、などなど)

2021/12/14(火)

ヨブ記 39章

神様は野生の動物に目を留めさせる。ここでは岩間の野やぎ、野ろば、野牛、だちょう、馬、鷹について触れているけど、この地球上には数えきれないほどの生き物が存在しているね。その一つをとってみても、私たちの目にはたくさん不思議なことがあって、それらは神様のデザインなんだ。

学校の授業や普段の生活から学ぶ生き物や自然のことも、単なる知識としてではなく、神様がデザインされたこととして学んでいこう！

「自分が正しい」「自分が一番分かっている」という思いではなく、神様が全てを知っておられるという心の態度でいよう！この世界のことを学ぶ時に、それらを造られた神様を覚えよう！

2021/12/15(水)

ヨブ記 40章

神はヨブを「非難する者」と呼んだ。ヨブが神に対し、文句を言っていたからである。ヨブは、自分がちりから造られたに過ぎず、神と対等に語ることでできない者であることに気づいた。それなのに神が親しく語ってくださることに、ヨブは驚き恐れている(1-5)。さらに神は「私のさばきを無効にするつもりか」と、神が義であることを語り(6-14)、かばを取り上げ、人間と同様わたしが造ったと語られた(15-24)。神はヨブの心に寄り添い、時間をかけて丁寧に語ってくださった。

人は神の前にちりにすぎない者だが、神が私に目をかけてくださっていることに感謝し、祈ろう！

2021/12/16(木)

ヨブ記 41:1-12

今日の箇所に出てくるレビヤタンはワニであろうとされているが、明確な記述はないらしい。少なくとも家畜にすることができない危険な生き物だということである。犬、猫、鳥などと違って私たちには直接管理できない危険な生き物はたくさんいる。しかしそれら全ても神様が造られ、支配する。その神様に対抗することがどんなに愚かなことかを神様はヨブに指摘しているんだ。

私たちは神様に造られ、生かされている。11節の意味を考えよう。僕らが神様に与えたのではなく、先に全てを与えてくださるのは神様だ。自分に与えられているものは、何があるだろうか？無いものではなく、すでに与えられているものに目を留めて感謝しよう！

2021/12/17(金)

ヨブ記 37章

「レビヤタン」を神様が賞賛しているね。現代のワニのことか、伝説上の生き物なのか分からないけど、もの凄い強い生き物だ。ちなみにワニは生態ピラミッドの頂点に君臨していて、地球上で最も噛む力が強い生き物だよ。(なんと太古の時代のワニはさらに巨大で、恐竜も捕食していたそう)

この世界に、人よりも力の強い生き物が存在するのはなぜだろう？神様は人にこの世界を支配させたけれど、なぜ人が恐ろしいと思うものも創造されたのだろう。

人が自分中心にならず、いつも神様を覚えるように、神様は世界をこのように創造されたのかもしれないね。僕たちは神様と共に生きて歩む存在として創造されたんだ。今日もイエス様にとどまり、実を結び歩みをしよう！

2021/12/18(土)

ヨブ記 38:1-15

ヨブは神様の問いかけを受けて、自分が神様のことを分かっていたことを認め、自分は正しいと言っていたこと、神様を小さく見ていたことを悔い改めた。2.3節を読むと素直に具体的に悔い改めていることが分かるね。

そして、間違ったことを話したとヨブの友だち3人は神様から責めを受けたけど、神様へのなだめのささげ物をヨブの元に持っていくように教えられた。ヨブが友だちのために祈るようにしたことで、友だちも悔い改め、ヨブとの関係も和解がもたらされた。その後、ヨブは満ち足りた人生を送った。

このヨブ記を読んで君が印象に残ったのはどんなことかな？神様の偉大さを覚えていられるように、へりくだっていけるように祈ろう！

2021/12/19(日)

ヘブル 2:9-18

イザヤの預言は苦難の中を歩む民に対して向けられたものですが、この預言が実際に成就したのはイザヤの時代ではなく、数百年という時をかけて、ようやくイエス様の誕生によって成就しました。

当時の人たちは、この預言の成就を見られなかったけれど、その人たちにとってこの預言が何も意味がなかったわけではない。「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる」。このみことばを信じ、待ち望む心には「大きな光」がすでに見えていました。たとえ今、自分が「死の陰の地」に住んでいるとしても、その心には、希望の光が輝いていました。

お祈り：神様、あなたが私たちのために、大切な御子であるイエス様をお与えくださり感謝します！